

# 鹿部町地域おこし協力隊通信

「学習支援（算数・数学）担当」

S・M 隊員

## ●はじめに

学び場を開講して7か月が経過しました。私は小学5・6年生の算数と中学全学年の数学を担当していますが、子ども達の「課題に黙々と真剣に取り組み姿」や「問題が解決した際の達成感に満ちた表情」を見るのが大変好きです。これらが学び場を運営する上での私の大きなモチベーションになっています。

これから、学び場を運営して考えたことや感じたこと等を述べたいと思います。

## ●子ども達に期待していること

次の4点について期待しています。現在は、徐々に達成されつつあると感じています。

一、「自主的」に課題に取り組むこと  
学び場では、私が教えることは原則ほとんどありません。（ただし、中学3年については教師主導で受験対策用の難問プリントを配布し子ども達が解答した後、解説を実施中）子ども達が自分で選択した課題に取り組む、解決できない箇所を私がサポートし正解に導くという授業形態を導入しています。今後この形態で子ども達の自主性を培います。

二、「学び合い学習」を実践すること  
私が某大学大学院で研究したヴィゴツキーの相互作用論を理論的背景とした「学び合い学習」を実践することは学び場の重要な要素です。こ

の授業形態は「友人に気楽に何回でも質問できる」という点で、私が勤務した中学校で多くの生徒に好評でした。今後もこの形態を推進し学力の向上を図りたいと考えています。勿論、一人で黙々と課題に取り組む姿勢も当然、素晴らしい取り組みであり尊重しています。

三、算数・数学のもつ「緊張感」を味わうこと  
算数・数学には「解答の途中で一つでもミスをしたら絶対に正解に辿り着けない」という緊張感があります。これを常に味わいつつ、論理的思考の積み重ねや繰り返しにより、正解を得られるよう支援しています。

四、恵まれた環境に「感謝の心」をもつこと  
本広報誌6月号でも述べましたが、私と妻（英語担当）が3年間滞在した南アフリカ共和国には、学校へ行けない子どもたちが大勢いました。また、黒人の方々に対する人種差別も存在していました。しかし、日本は環境に恵まれ、差別もありません。これらを当たり前と考えることなく感謝しながら学習に取り組むとともに、差別に苦しむ方々に思いを馳せてほしいと願っています。これらのことを学び場で子どもたちに語ることは、南アフリカで過ごした私たち夫婦の使命であり、ライフワークでもあると考えています。

●子ども達の様子／素晴らしい点／子ども達の素晴らしい点を記します。

一、静まり返った雰囲気の中で自主的に黙々と課題に取り組んでいきます。真剣に課題に取り組む姿勢から、解答の途中でミスができないという緊張感を常に味わっているようです。

二、学び合い学習が頻繁にかつ自然発生的に行われています。そして、教えてもらった子ども達は各種テストで良い結果を出しています。相互作用論の一研究者として嬉しい限りです。

三、積極的に質問をする子ども達が増えます。私は質問を受ける度に心躍らせ幸せを感じながらその子ども達の学力が向上するように祈り、解説をしています。

四、学校で実施されたテストで、正解することができなかった問題について、解答を見たり私に質問したりしながら確実に解決しています。

五、時折、（右に記した）南アフリカの厳しい現実について語りますが、子ども達は私の話しを真剣に聞いています。そして、悲しい表情をしたり、差別を非難したりする子ども達もいます。

## ●学び場の意義に関する考察

全国でも類を見ない「しかべ学び場」は、毎回の授業で課題に黙々と真剣に取り組む姿勢が確認できることから、子ども達の自主的な取り組みを促す効果的な環境になっていると思われれます。また、理解を助ける学び合い学習は、テスト得点の向上が確認できることから効果的な学習形態であると思われれます。更に、子どもたちが真剣に課題に挑戦する姿

勢からは、算数・数学のもつ緊張感を味わっているのではないかと思われます。休憩時間には、親に対する感謝の言葉を口にしたり、南アフリカでの人種差別を非難したりする子ども達がいることから、私と妻の語りは少しずつ子どもたちの心に浸透しているのではないかと考えます。

## ●今後の取り組み

学習支援の更なる充実を図ることは勿論、南アフリカの様子を写真パネルを活用して紹介したいと考え、計画しています。

## ●終わりに

7月のある日、その日は土砂降りの雨が降っていました。自転車で通って来た子ども達は、洋服がびしょ濡れになっていましたが、学び場が始まるとそのことを気にせず黙々と真剣に課題に取り組んでいました。学び場が終わると彼らはまた、びしょ濡れの雨具を着て帰っていききました。私は、そんな子ども達の様子を見て涙が込み上げてきました。そして、悪天候の中を苦勞して学び場に通ってきた彼らの学力が少しでも向上してほしいと願わずにはいられませんでした。



子ども達の取組みの様子